

意欲ある梨産地の担い手育成

－青年農業者等スキルアップ研修による資質向上－

1 活動のねらい

農業事務所では、青年農業者の就農段階に応じた様々な支援を行っています。その中で、農業経営体育成セミナーを修了した就農定着後の青年等については、青年農業者等スキルアップ研修を実施し、より専門的な技術習得及び経営管理能力の向上を図っています。平成 28 年度は八千代市梨業組合研究部、平成 29 年度は管内の梨を生産する青年農業者を対象に梨の経営に関する研修を実施しました。

2 課題の背景

千葉地域では、都市近郊の立地を活かした直売主体の梨の栽培が盛んであり、特に八千代市では後継者も比較的多く就農しています。しかし、産地全体では高齢化や担い手不足が進んでおり、家族以外の雇用労力の活用や、省力化栽培導入への関心が高まっていました。また、直売が主体であるため、後継者は販売方法の改善に関心を持っていました。

そこで、梨を生産する青年農業者を主な対象とし、梨直売経営に必要な販売戦略及び手法、雇用導入や省力化栽培の知識・技術の講義や、事例視察を通じて、経営者能力を向上させることを目的に研修会を実施しました。

3 普及活動の経過・結果

(1) 活動の経過

ア 対象の選定

八千代市梨業組合研究部は、概ね 40 歳までで就農年数 10 年以下の青年農業者 16 名で構成されています。平成 28 年度は研究部員を対象とし、個人の資質向上を図るほか、研究部の主体的な活動を促すきっかけとしました。

平成 29 年度は、八千代市以外の青年農業者へ効果を波及させ、広く交流を図るため対象を千葉管内の梨生産者に拡大してスキルアップ研修を実施しました。

イ 研修内容の決定と運営

研修内容は、事前に受講対象者の意向を確認しました。平成 28 年度は八千代市梨業組合研究部で関心の高い販売方法について、平成 29 年度は省力化栽培や雇用導入を中心に研修を実施しました。

運営は、平成 28 年度は八千代グループの果樹担当が、平成 29 年度は果樹担当 2 名と事業総括担当が連携して行いました。

(2) 活動の結果

ア 平成 28 年度

3 回の研修を実施し、各回 15 名程度の出席がありました。販売について優良事例を見ることにより自分の直売所の課題や改善点を発見したり、学んだ商品の PR 方法を試したりするなど経営改善に取り組むきっかけとなりました。

また、研修内容の検討を研究部と連携して行うことにより、主体的な活動を促すことができました。

イ 平成 29 年度

2 回の研修を実施し、11 名の出席がありました。研修により、具体的な省力化栽培の管理方法を学んで二本主枝一文字整枝導入の準備を進めたり、労災保険に加入するなど雇用管理方法の改善に取り組むようになりました。また、地域を越えた情報交換が図られ、管内青年農業者の交流が進みました。

年度	回	研修内容
H28	第 1 回	果樹複合経営の直売所における販売戦略について
	第 2 回	直売所における販売ノウハウについて
	第 3 回	二本主枝栽培の管理・果実加工品の取り組み事例について
H29	第 1 回	雇用導入と省力化栽培技術について
	第 2 回	省力化栽培技術及び雇用導入事例について

4 今後の課題

2 年間の研修を通じ、梨生産における経営管理能力向上に向けた技術習得が図られました。

研修後のアンケートや個別巡回による意向把握から、省力化栽培導入の時期や雇用に対する考え方、技術レベルの違い等も明らかになりました。今後は、これらの情報をもとに個人のニーズに合わせた経営指導に活かしていきます。



省力化樹形（二本主枝一文字整枝）の講義

5 担当 八千代グループ、市原グループ

6 協力機関 JA 八千代市